



おぎ だより

平成30年11月号

杉並区立井荻小学校

平成30年10月30日発行 No.604

～ 次への意欲は ～

校長 小澤 伸生

先日の運動会ではご来賓、地域、保護者の皆さまからたくさんのご参観をいただきました。天候不順な日が続き、十分な練習をすることができなかった今年の運動会ですが、もっている力を十分に発揮し、伸び伸びと運動する子供たちの姿を見て、「温かな声援の賜物」だなどあらためて実感いたしました。心より感謝申し上げます。

さて、新学習指導要領（後述：新指導要領）移行期の1年目も半年が終了しました。道徳や外国語の教科化が何かと話題になる新指導要領ですが、「特別活動」も勿論、その内容が改訂されています。特別活動は、「学級活動」「児童会活動」「クラブ活動」、そして「学校行事」に分類されます。運動会はこの学校行事に含まれるものです。そのねらいは簡単に表現すると、「子供たちが様々な集団活動に、自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を發揮しながら、課題を解決し、集団や社会の中で生きていく資質・能力を身に付ける」ということです。新指導要領に関して、少し前までよく聞かれた「アクティブ・ラーニング」は、その内容が正確に伝わるように、最近では「主体的・対話的で深い学び」と呼ばれるようになっていますが、特別活動においてもやはり、まず自主的、主体的であることが求められていることに違いはありません。まず自らが「やろう」という意欲をもつことが大切なのです。

私たちが何か挑戦しようという意欲をもつのは、大まかに整理すると、活動に成功した時、単純にその行動自体が楽しい時、もう一つは誰かに自分の行動を褒められた時なのではないでしょうか。そう考えると、学校行事という集団的な活動の中では、表面上全ての子供が成功体験を積むことは難しい部分があります。全ての児童がその活動を最初から楽しめるかというと、そうでもありません。頑張っても、途中で転んでしまうこともあれば、人前で踊るのは苦手、という児童も当然いるわけです。

やりたかった役割、本当は出たかった競技に出られなかった。ということもままあります。

では、様々な個性や体験をもつ子供たちが、どうしたら学校行事を通して、主体的に取り組むことができるようになるのでしょうか。我々大人にできることは何なのでしょう。

それはやはり子供たちの活動の過程を暖かく見守り、そして励まし、結果だけでなく努力や取り組む姿勢に励ましと賞賛を送ることだと思います。

運動会後、子供たちが書いた感想の中に次のような一文を見つけました。

ほんとうは1位になりたかったけれど、けっかは3位でした。家に帰って、お母さんに言うと、「でも最後までいっしょうけんめい走ってえらかったね。」と言ってくれました。来年もがんばろうと思いました。

短い文章の中に、この児童が大切なのは結果だけでなく、物事に取り組む姿勢だ。ということをお母さんの一言から学び、そして励まされていることを感じます。最初は少し残念だったかもしれませんが、この児童はきっとこの先の学校生活の中で、苦手なことや、思い通りにいかない状況に出会っても、意欲を失わずに、勇気をもって取り組む力を身に付けていくはずですよ。それが主体性へと繋がり、新たな可能性への入口となるでしょう。

この先の長い人生を想像した時に、本当に身に付けたい力への階段を上がる一歩を踏み出した、まさに成功体験だったと私は思います。

学校行事は子供たちに自主性や主体性を育むよいチャンスとなるものです。井荻小では11月の音楽会も、過程を大切にして児童を指導していきます。今後とも、地域、ご家庭の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

11月行事予定

1	木	連合運動会予備日
2	金	
3	土	文化の日
4	日	
5	月	委員会
6	火	SC
7	水	町たんけん（2年）
8	木	
9	金	安全指導 生活習慣病予防検診（4年） 読書旬間終
10	土	囲碁
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	B時程 ★
16	金	音楽会（児童鑑賞日）
17	土	音楽会（保護者鑑賞日）
18	日	
19	月	振替休業日
20	火	避難訓練 SC
21	水	就学時健診 午前授業 月の観察会
22	木	社会科見学（4年） 月の観察会予備日
23	金	勤労感謝の日
24	土	お囃子
25	日	
26	月	クラブ
27	火	荻中生による読み聞かせ SC
28	水	連合音楽会（5年）午前 ネイチャーゲーム（1年）
29	木	
30	金	4時間授業 ネイチャーゲーム予備日（1年）

スクールカウンセラー来校日・・・SC
給食費引き落とし日・・・★

おめでとうございます！

第19回「杉並区 図書館を使った
調べる学習コンクール」
奨励賞 3年1組 黒川 透和子さん

11月の生活目標

「言葉を大切にしよう」

～相手の気持ちを考えて、あたたか言葉で伝えよう～

生活指導部 成田 麻美

あたたか言葉、とげとげ言葉という言葉を知っていることはありますか？あたたか言葉は人に対して優しい気持ちになる言葉です。反対に、とげとげ言葉は、人に対して傷つける攻撃的になる言葉になります。

ある日、授業中にちょっとしたきっかけから、友だちとケンカになることがありました。理由を聞くと、きっかけはとげとげ言葉。友達が通路をふさいでいたので「どけ！」と言いケンカになったそうです。

この場合は、「通りたいからちょっとよけてね。」と言い方を変えて言っていたら、ケンカにならなかったでしょうか？同じ事を言っても、感じ方は全然違いますね。

相手の気持ちを考えた言葉が、あたたか言葉になるのです。ぜひ児童の皆さんには、相手の気持ちを考えた、あたたか言葉を使って欲しいと思っています。

♪音楽会について♪

日時：11月17日（土）保護者観賞日
場所：体育館

3年に一度の音楽会です。各学年、みんなで協力しながら練習に取り組んでいます。本番での演技をご期待ください。

発表順は、1年→2年→3年→4年→5年→6年です。詳しくは、後日配布されるプログラムをご覧ください。

お世話になりました。

子供たちと完食調査をしたり、グリンピースのさやをむいたりして、児童と共に成長させていただきました。この経験を大切に新しい学校でも頑張ります。ありがとうございました。 栄養士 羽場 亮太
※11月より峯岸 美野里 栄養士が復帰します。